

西部地区小中一貫教育だより

2022年(令和4年)6月9日
西部地区小中一貫教育事務局

2022年度(令和4年度)西部地区小中一貫教育第1回合同研修会が、4月28日(木)松永中学校で開催されました。第1回は西部地区全会員が集まり、全体会で西部地区小中一貫教育のねらい・方向性を確認しました。その後、各部会に分かれて部会の方向性・計画を立てました。小中10校がそれぞれの特色を活かし、連携を取り合いながら、子どもたちの9年間を見据え、知・徳・体のバランスを取り、社会で通用する子どもたちを育てていきたいと思ひます。「教育だより」では、研修内容等についてお知らせし、共有していきたいと思ひます。



【第1回全体研修会「全体会」】

西部地区小中一貫教育推進協議会

副会長 中谷充布(松永小学校長)

4月28日には、西部地区小中一貫教育の第1回合同研修会に参加していただき、有難うございました。「個の力量は組織で伸ばす」と言われますが、7小学校と3中学校の約180名の大きな組織として動き始めました。しかし、形はできましたが、中身のあるものにならなくては、いつまで立っても変化は起こりません。『変化なくして進化なし』

渋沢栄一の言葉を引用して岡野会長が挨拶の中で言われましたが、組織の変化だけではなく、中身の変化無くして進化は望めません。

第1回11部会では、児童生徒の実態、学力の状況、中学校出口を見据えた小中学校教育の取組、資質・能力をつけるための各教科等の工夫等が議論されたと聞いています。中には、意見の違いやズレから活発な議論が交わされました。意見の違いやズレはあって当たり前、この違いやズレから問いが生まれます。「夢は語ることから動き出す」そういった意味で、良いスタートが切れたのではないかと思ひます。西部地区小中一貫教育の2つのねらい「西部地区の子どもを9年間で育てる」「知・徳・体のバランスの取れた、社会で通用する子どもを育てる」をもとに、これから、小中学校9年間の児童生徒の育ちと学びについて、いろいろと意見を交わしながら切磋琢磨し、中身あるものを創り上げていきましょう。まさに、「チャレンジ・チェンジ」です。学力テストだけでなく、これから求められる資質・能力を高めるために、「西部地区小中学校教職員」や「地域・保護者」が一丸となって、質と実を高められる一年間になるよう、共に頑張りましょう。

西部地区小中一貫教育推進協議会

副会長 前田むつみ(精華中学校長)

本年度より、西部地区小中一貫教育がスタートし、今まで中学校校区で取組んできたことを西部地区の10校の小中学校で取組んでいきます。

確かな学力を身につけ、自らの進路を自分で切り拓き、自己肯定感を高く持ち、社会に貢献できる児童・生徒を育成するために、各部会で研究を進めていきます。

子どもたちに『学び続ける力』をつけるためにも、まずは教職員が学び続けることが大切です。何も

無いところから新たなものを創り出すことは大変ですが、10校が本気で取組むからこそ素晴らしい取組になります。各部会で西部地区の課題を分析し、改善策を考え、研究や取組みを進めていってください。10校の187名の力が結束すれば、すごい力になり成果が出てくるはず。西部地区の小中学校の先生方で一緒に学び続け、皆さんで西部地区小中一貫教育を子どもたちのために盛上げていきましょう。よろしくお願ひします。



<p>第1回 研修会 部会報告</p> <p>上段：研究テーマ 下段：今後の取組 内容</p>	<p>【教務部会】 学力向上と主体的学びの授業</p>	<p>【生徒指導部会】 「自己肯定感の向上」 ～挨拶・自己表現の取組を通して～</p>
	<p>「R3結果分析取組シート」や「今年度学力調査」で西部地区全体の課題を分析し、学力(表現力)が向上する主体的な学びの授業を研究・実践提案する。</p>	<p>「生徒質問紙」で自校の課題を分析し「挨拶」「自己表現」の2点について「主体的な学び」をキーワードに課題改善を行い、効果的な取組を西部地区で共有・蓄積する。</p>
<p>【ICT部会】 思考・判断・表現する力を育む、ICTの効果的活用</p>	<p>【理科部会】 主体的に学ぶ生徒の育成をめざす探究的な理科授業の創造</p>	<p>【国語部会】 自己表現力の育成を通して学力向上を図る</p>
<p>学習端末の活用状況を課題分析し、効果的な活用方法を研究・実践する。西部地区全体で活用事例集を作成し、主体的な学びの向上につなげる。</p>	<p>授業の探究場面を焦点化して授業観察し、研究協議する。コロナ禍での理科授業(実験)や各調査問題の分析をふまえ小中で統一した取組を設定する。</p>	<p>自己表現力の育成に向けて共通課題を設定し、各校で実践後交流を行う。学力調査の結果分析をし、次年度に向けて共通した取組を明らかにする。</p>
<p>【外国語部会】 小学校と中学校をつなぐ →自己表現へ</p>	<p>【算数・数学部会】 「9年間で力をつける授業の創造～学力分析をもとに～」</p>	<p>【社会科部会】 資料をよみとる力をつける 授業づくり(仮)</p>
<p>外国語活動の系統性や主体的な学びに向けた授業づくりの検討とその実践(研究授業・協議)を行う。</p>	<p>昨年度の学力調査から共通する学力課題を把握し、ゴールである高校入試問題を解くことで課題を共有し、授業づくりをする。</p>	<p>公立高校の入試問題の「求められる力」分析し、それをふまえた授業研究を2回行い、研究協議する。</p>
<p>【総合的な学習部会】 主体的に課題を見出し、追究し、自己表現する授業づくり</p>	<p>【特別支援教育部会】 自己肯定感を育成し、学び続ける児童・生徒の育成</p>	<p>【健康部会】 健やかな心と体の育成</p>
<p>各校の「カリキュラム・マップ」「授業」を課題分析し、小中1校ずつが授業研究を行い、取組の過程や工夫に焦点をあてた協議をする。</p>	<p>「自立活動・生単・教科」「ICTの活用」「評価」等を柱にした各校の実践を交流し、自己肯定感を高め、学び続ける子どもになるような授業づくりをする。</p>	<p>「健康」のテーマから何が取組めるかを模索しながら、食・運動・睡眠を柱に、「させる」指導ではなく、子どもが「自らしよう」とする指導を目指す。</p>